

事業所名

総社市立 総社はばたき園

支援プログラム

作成日

7年

1月

31日

法人（事業所）理念	身近な大人との良好で安定した生活を送り、整った環境の中で基本的な生活習慣や人との関りをスモールステップで身につけていく。家庭と情報交換しながら少しずつ園や家庭でできることや興味関心を増やし、将来の自立への基礎を身につけていく。						
支援方針	基本的な生活習慣の獲得（食事・排泄・着脱など） 対人面、コミュニケーション能力の向上 身近な大人との安定した関りを持つことができる 小集団での設定活動（簡単なルールを身につける） ワーク活動（一人で取り組む自立活動・職員と一対一で学ぶ活動） コーナー遊び（自由遊びを通しての興味関心、余暇の充実） 外遊び（身体を動かし体幹を鍛える）						
営業時間	8時	30分から	17時	15分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	時間と空間の構造化（スケジュール・指示書・要求ボード・フィニッシュBOXの使用・片付け等のかごを使った整理整頓・コーナー作り等）による個々の障害特性に応じた支援 将来のライフステージを見据えての基本的な生活習慣の向上（食事・排泄・着脱・身の回りの整理整頓等） 健康状態のチェック（検温・園児の状態観察）					
	運動・感覚	日常生活に必要な運動、動作の基本を身につける（生活全般に必要とされる体の動きや姿勢、道具の使用に伴う上肢や指先の微細運動の向上・座位や立位などの姿勢の維持） 歩行器・、装具を使用したりハビリ 軽い運動、サーキットや飛び石、遊具を使っての色々な姿勢の経験、体力や体幹の向上 イヤーマフなど聴覚過敏に関する器具の使用 感覚過敏に対応した活動（いろいろな感覚や皮膚刺激になれる）					
	認知・行動	スケジュールや絵カードを確認して自分で次の活動を意識し行動することができる 構造化を使っての身辺整理や、指示書を見て日常の様々な活動に取り組むことができる。 数・大小などの比較、色や形などワーク活動 粘土・スライム・ブロック遊び 小集団の設定活動全般、集団行動（並んで歩く、手をつないで歩く、順番を待つ等々） こだわりや偏食に対する支援 認知、コミュニケーションの困難から予想される行動障害への対応（事前の予告をする、スケジュールでの予告や確認、変更や追加）					
	言語 コミュニケーション	大人や友達との関りを通して自分の要求を伝える、相互のやり取りや共同注意、相手の意図を理解する（簡単な質問に応じて答える）、自分の気持ちを伝える 個別のワーク活動や小集団での設定活動での読み書きの課題に取り組む 絵カードやスケジュール・指示書を使っての視覚的な個々に応じたわかりやすい支援の実施 スケジュールや要求ボードの使用、目線や身振り手振り、指差しなど何かしらの手段での要求 文字や絵カード、VOCAなど使ったコミュニケーション支援					
	人間関係 社会性	身近な大人や友だちとの安定した関係を作っていくことができる 日常の遊びや手遊びなどの模倣、手遊びなどの模倣する活動 見立て遊びやごっこ遊び、一人遊びから並行あそび、大人と一緒に遊ぶなど遊びを通じて興味関心の幅を広げていく 役割やルールのある遊びや御用学習や当番活動などを通して友だちや大人とのやり取り、社会的な役割への意識を持つことができる					
家族支援	家庭と連携した支援目標の設定、家庭へ訪問しての支援 スケジュールなどの支援グッズの製作 個人懇談・家庭訪問など中心に必要なに応じて兄弟児を含めた相談の実施			移行支援	就学、就園に関しての引継ぎ・情報共有・支援会議の実施 次の移行をふまえてライフステージに沿った支援目標の設定 進路等についての相談		
地域支援・地域連携	相談支援事業所、保健師、児童相談所等との情報共有			職員の質の向上	年間7回の外部コンサルタントによる研修 外部講師による実践的なトレーニングセミナーの実施		
主な行事等	入園式・卒園式、家庭訪問、療育参観、七夕会、交通安全教室、保護者交流会、はばたき祭り 運動会、消防署見学、クリスマス発表会、クラス別家族療育						